



区民が払った税金が 使われていない！

貯金(基金)残高**1465億円**達成！
胸を張る保坂区長って何なんだ？

※令和7年度末の基金残高見込みは、総額 1311 億円

●「行政なんて関係ない」「庁舎や学校の建設も自分には関係ない」そう思うかもしれませんが、しかし、行政の質は区民の生活の質に直結します●今の時代、昨日と同じ日が続くとは限りません。たとえば、お米が突然消

えたり、大企業が倒産の危機に陥ったり、道路が陥没したり、感染症が流行したり●そんな時、区役所は本当に区民の役に立つ存在なののでしょうか？●トップは、しっかりと責任を果たしているのでしょうか？

学校の建築費は 10年で2倍以上

●財政課の資料によると小中学校の建設費はここ10年間で2倍以上の高額になっている●正確に言えば2.4倍●もちろん予算規模が伸びていれば問題は吸

収されるが、予算規模の伸びは1.5倍である●ことは学校だけに限らない●公共工事がここ数年高騰していること●下はたった1年で1.7倍である●左の建設費はいわゆる「素」の建設費●仮設校舎等が加わると下のごとく100億円になる！

2005年 27億円
2015年 29億円
2025年 71億円

1校あたりの小中学校建設費

小学校の建て替え費用が137億円

●これは、ある小学校の建設費の推移。137億円でも事業者が見つかるか不透明な状況になっています●隣接する幼稚園の建設費や、特殊な地盤の土木工事費も含まれています●

令和2年 62億円
令和4年 68億円
令和6年 82億円
令和7年 137億円

令和2年は62億円でも、区の基準を満たす事業者が見つからず。●令和4年も同じ学校で、この金額では建設が難しいとして辞退が相次ぐ●令和6年は価格を見直したものの、教室数の増加もあり、さらに再検討●令和7年にはついに見直し後の金額が137億円に！ただしこの金額には仮校舎の経費26億円が含まれており実質的な建設費は110億円という計算になるが……。

左は令和5年(69号)の
選挙前の見出しです。
公共施設等の
インフラ整備
が世田谷区は
遅れていることを指摘！

●保坂区長が如何に間違った「自慢」をしていたか！●区の貯金の黒字化など、区民が払った税金を区民の為に使わずに利子のつかない銀行に預金しましたということである●端的に言えば「仕事をしませんでした」と告白しているようなものです●税収が増加しているから大丈夫などと嘯いていても、実際には左で示したように税収を上回る建設費の上昇です●事実、長期計画の達成度合はひどいものです。



行政と
関係の
ない人はいない

●行政との関わりは、福祉や義務教育を通じて生まれることが多いでしょう●それ以外では行政と関わる機会は少ないと思っている人も多いかもしれません●それは当然です。日々の生活に追われ、忙しいからです●しかし今は元気でも、いずれ「老後」や「介護」の問題に直面することになります●少子高齢化が進む社会では、高齢者が大半の社会になります●本庁舎の問題や学校の校舎の整備も、巡り巡って高齢者社会に影響を与えます●若い頃は行政を意識しなくても、年を重ねると行政と関わらざるを得なくなるのです。